

馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書について

（令和4年4月28日公表）

馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書（以下「準備書」という）及びこれを要約した書類（以下「要約書」という）について、誤記又は不明瞭な記述を以下のとおり修正します。

また、現在縦覧中の準備書2分冊中の2の目次について、九州防衛局及び熊本防衛支局のホームページ上に掲載されていなかったことから追加します。

	章	項	対象箇所	修正前	修正後
準備書	4	4-99	方法書に対する意見及び事業者の見解 4.2 知事意見及び事業者見解 番号 43 事業者の見解	調査地点については、住民等からの意見を踏まえ、板敷鼻、伊勢神社、美浜、夕暉が丘、天女ヶ倉、住吉地区の高台、長浜海岸及び西之表港の8地点を追加しました。	調査地点については、住民等からの意見を踏まえ、板敷鼻、伊勢神社、美浜、夕暉が丘、天女ヶ倉、住吉地区の高台及び長浜海岸の7地点を追加しました。
	6	6-15-24	6-15 陸域生態系 (2) 調査結果 現地調査結果 表-6.15.8 目視確認によるシカの確認個体数	d) 典型性 シカ  令和2年12月15日 令和2年12月16日	c) 典型性 シカ  令和3年12月15日 令和3年12月16日
			6-15 陸域生態系 (2) 調査結果 現地調査結果	e) 典型性 ホオジロ	d) 典型性 ホオジロ
	6	6-15-94	(2) 飛行場及びその施設の存在及び供用 1) 環境影響の回避・低減に係る評価 (a) 環境保全措置の検討	シカの施設内への侵入を防ぐ外柵を滑走路や施設周囲に限定して設置することにより、現在計画している供用時の改変区域（馬毛島面積の約49.2%）に縮小しました。	シカの施設内への侵入を防ぐ外柵を滑走路や施設周囲に限定して設置することにより、現在計画している供用時の改変区域を馬毛島面積の約50.8%に縮小し、シカの生息・生育範囲として馬毛島面積の約49.2%を確保しました。
	6	6-15-97	図-6.15.34 供用時の改変区域	陸域生態系注目種を含め陸域動植物の生息・生育範囲の消失面積を最小化するために、可能な限り改変区域を抑えました（馬毛島面積の約49.2%）。	
	7	7-16	7.2.10 陸域生態系 (1) 環境保全措置の検討	シカの施設内への侵入を防ぐ外柵を滑走路や施設周囲に限定して設置することにより、現在計画している供用時の改変区域（馬毛島面積の約49.2%）を確保しました。	
	9	9-58	9.1.14 陸域生態系に係る環境影響評価の結果の概要（6）  環境保全措置	シカの施設内への侵入を防ぐ外柵を滑走路や施設周囲に限定して設置することにより、現在計画している供用時の改変区域（馬毛島面積の約49.2%）を確保しました。	
要約書	6	6-58	6.1.14 陸域生態系に係る環境影響評価の結果の概要（6）  環境保全措置	シカの施設内への侵入を防ぐ外柵を滑走路や施設周囲に限定して設置することにより、現在計画している供用時の改変区域（馬毛島面積の約49.2%）を確保しました。	